

# 2023 年度 病院医療関連職域管理栄養士・ 栄養士育成のため全国リーダー研修会報告

開催日時：2023年4月15日（土）

13：30～18：35 Web開催

## 1. 第1号議案 2022年度事業報告の件

2022年度の活動は、スローガン「新たなビジョンの達成に向けて管理栄養士の専門性を高めよう」を掲げ①本ビジョンの周知・共有を図り、医療職域での連携を強化する。②調査・研究に基づく管理栄養士による栄養管理の機能と役割の見える化を進めエビデンスを構築する。③施設及び地域での同職種間連携や、多職種連携によるシームレスな栄養食事指導及び栄養管理体制推進のための情報共有を充実させる。④機能種別に応じた専門領域での生涯教育制度の推進を図るとともに、認定管理栄養士や各分野の専門管理栄養士の取得を勧奨する。⑤栄養管理の基盤となる、病院フードサービスを充実させる。⑥専門領域の魅力を発信し、組織強化を図り会員増対策の強化を図る。以上6項目を中心に取り組んできた。具体的な事業としては全国リーダー研修会や地区リーダー研修会の開催、食事療法学会や臨床栄養学術セミナー等の各種研修会の開催、全国栄養部門実態調査等の調査関連、日本栄養士会雑誌やホームページ等の広報活動などがある。

## 2. 2023年度事業計画（案）の件

医療職域のスローガンである「新たなビジョンの達成に向けて管理栄養士の専門性を高めよう」をもっとうに活動戦略の重点項目として①本ビジョンの周知・共有を図り、医療職域での連携を強化する。②調査・研究に基づく管理栄養士による栄養管理の機能と役割の見える化を進め、エビデンスを構築する。③施設及び地域での同職種間連携や、多職種連携によるシームレスな栄養食事指導及び栄養管理体制の推進のための情報共有を充実させる。④機能種に応じた専門領域での生涯教育制度体制の推進を図るとともに、認定管理栄養士や各分野の専門管理栄養士の取得を勧奨する。⑤栄養管理の基盤と

なる病院フードサービスを充実させる。⑥専門領域の魅力を発信し、組織強化を図り会員増対策の強化を図る。以上6つの提案があった。

具体的な事業としては2022年度に引き続き全国リーダー研修会や地区リーダー研修会の開催、食事療法学会や臨床栄養学術セミナー等の各種研修会の開催、全国栄養部門実態調査等の調査関連、日本栄養士会雑誌やホームページ等の広報活動などがあり、さらになんか対策基本計画の変更に伴い、患者に寄り添う管理栄養士啓発普及事業を展開していくことを検討している。

## 3. 各ブロック報告

2022年度に行われた病院医療関連職域管理栄養士・栄養士育成のための地区リーダー研修会について、各ブロックから報告があった。

## 4. 2022年度全国栄養部門実態調査報告及び2023年度全国栄養部門実態調査について

2022年度の全国栄養部門実態調査の報告があった。回収率36.6%で昨年度より5.9%アップした。主な調査結果としては、入院栄養管理体制加算の新設後、特定機能病院における管理栄養士の病棟配置が増加している。病棟配置をしている病院では居宅療養管理指導、認定栄養ケアステーション、外来がん化学療法患者に対してがん専門管理栄養士による栄養食事指導の実施が有意に多いなどがあった。2023年度全国栄養部門実態調査については2024年のトリプル改定の基礎資料となるので是非とも回収率をあげて診療報酬改定に繋げていきたいとの報告があった。

## 5. 病院の給食部門における収支状況に係る調査について

人件費、食材料費、光熱費等経費の高騰に伴い、平成29年に厚生労働省でおこなわれた病院の給食部門における収支調査をもとに、現在の状況を把握するべく実態調査とは別で病院の

給食部門における収支状況に係る調査について  
6月を調査月として実施する予定である

#### **6. 第42回食事療学会報告および第43回食事療学会開催について**

第42回食事療学会開催報告があった。今回は講演、会員対話以外に午前中に一般演題をおこない、スポンサーセミナーも実施した。第43回開催についてもWeb開催でのニーズが高いことから第42回開催と同様にWeb開催でおこなう。開催内容については医療、介護、障がいのトリプル改定であることから厚生労働

省の方の講演、会員対話もおこない、その他の一般演題、講演等も第42回同様におこなう予定である。

#### **7. 講演及び意見交換会**

PES報告の重要性・普及の必要性について及び栄養管理プロセスにおけるPESとSOAPについての講演があり、その後PES普及のための方策検討・意見交換会がおこなわれ、本日の研修会は終了した。

(文責 医療 内菌雅史)